

八学大ビジネス学部が開発

アプリ使って観光を

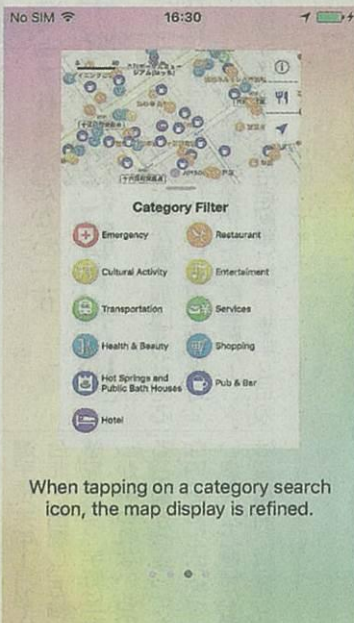
英語で情報提供

八戸

八戸学院大ビジネス学部の学生が、iPhone(아이폰)用の外国人向け情報提供アプリ「Hachinohe Info」を開発。21日、報道陣向けの発表会を

開き、学生と教員が製作作業のエピソードを交えながら使用方法を紹介した。

外国人観光客に簡単に地域情報を取得できる手段を提供して、滞在を楽しんでもらおうと企画。同大ビジネス学部ビジネス学科のバリー・グロ



報道陣向けに開かれたアプリの発表会(上)と、iPhone用外国人向け情報提供アプリ「Hachinohe Info」

スマン教授のゼミ生が考案し、八戸市のアイティコワーがアプリ製作を手掛けた。アプリは「AppStore」から無料でダウンロードできる。
アプリを起動すると、八戸市を中心とした地図が表示される。飲食店や宿泊施設など11個のカテゴリーがあり、約320カ所の施設を英語で検索できる。
発表会に出席した西村璃那さん(22)は「英語の勉強だけでなく、八戸についても改めて知る機会になった」と振り返り、中坂和希さん(22)は「アプリが完成してうれしい。八戸に来た外国人の方々に使ってほしい」とPRした。(瀬戸麻理乃)